



子どもたちもかなな削り体験
(P3 削ろう会全国大会)



- ✎ 鉄印旅は、楽しいよ⑦ ～井原鉄道～
- ✎ 削ろう会全国大会大阪交野大会、開催
- ✎ 3月31日～韓国の歴史と民主主義に触れた旅
- ✎ 原発賠償関西訴訟第53回期日の報告
- ✎ 今月の五行歌
- ✎ なんちゃって農業女子(45)
- ✎ 気軽にポチッとしてみたら (「碧」2025より)
- ✎ イベント紹介/会計報告/編集後記

「LIP編集局」

<https://love-dugong.net/lip/>

連絡先

メールアドレス: lip@love-dugong.net

TEL: 070-5653-6913 (18時以降)



【鉄道+御朱印】=[鉄印] ~鉄印旅は、楽しいよ⑦❤️~

~井原鉄道~2024.11.4~

【井原鉄道】井原鉄道は、岡山県は総社市から広島県は福山市の神辺を走る、全長41.7キロ、全15駅を結び走る第3セクターの鉄道です。沿線はほとんど高架を走りますが、途中長閑な田園風景にも出会えます。

井原鉄道~2024.11.4~

こちらのお目当ては、桃鉄印が桃太郎！岡山ですかからねー。

桃鉄印がもらえるのは、公式には2025年3月までとなっているので、行けるときに行っとかないとねーと言うことで、日帰り岡山旅。一抹の不安は、結構この桃鉄印は人気で、在庫がないと言う噂があるので、一応前日に電話で問い合わせて「桃鉄印はありますよー」と確認して出発。

岡山までは、青春18切符旅で何度も乗り継いだことがあるので慣れたもの。最寄り駅→京橋で友達と待ち合わせ→姫路→岡山→清音→ここから井原鉄道のスタートです。岡山駅で美味しい海鮮ランチのお店も調べていたので、お腹も満たしてここまではいたって順調。

で、井原駅で桃鉄印…と窓口に行くと「ハイハイ、桃鉄印ね…え、ない…」まさかの在庫切れ。「昨日電話したんですけど…」という、「今日届く予定で、予定表にもあるけど…あ、祭日だから明日かなあ…」って、これもらいに、大阪から来るんですけどー(怒)一応は本社に問い合わせしてくれたけど、お休みの日に出るわけもなく…通常鉄印をもらいました。ついでに応援の意味を込めて、井原鉄道のかりんとうも購入。そしてジーンズshopを散策して、小物もいくつか買いました。

気を取り直して、お次は本日もうひとつの目的の、井原鉄道の沿線の観光地である、矢掛宿に行きました。ローカル線の沿線には、だいたい「〇〇宿」

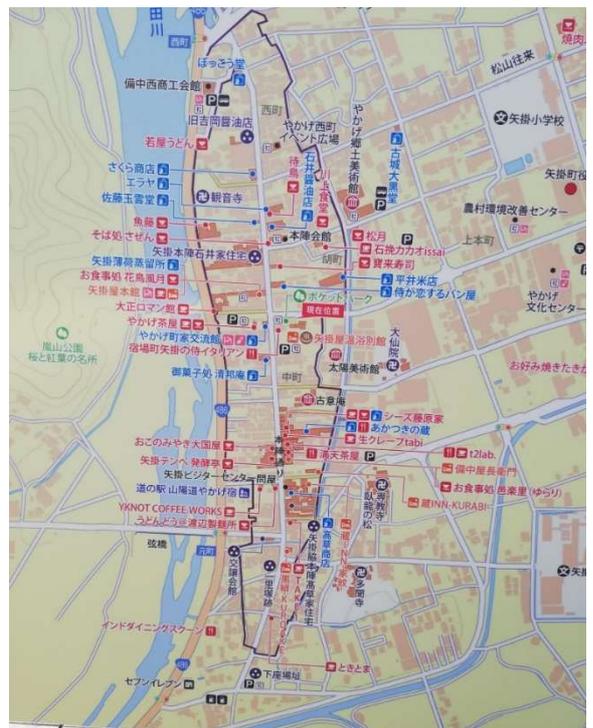


があるのですね。不思議とどこも、鉄道があって、宿場町があって、平行して川が流れているのです。というか、川のそばに宿場町があって、だから鉄道ができたのかもしれませんが。そして必ず「石〇家」が見学できるのです(笑)なんか古いお屋敷って、石の文字がつきませんか？

矢掛宿は、いい感じに古いお店と新しいお店が共存していて、けっこう期待以上でした。カカオからチョコを作っているお店でカカオのドリンク飲んで、その横には戦前からありそうな、計り売りする醤油屋さんでおしょうゆ買って、天皇も食べたゆべしのお店や、おみやげ物屋さんやアクセサリのお店など…

見所たっぷりな観光地で気分もアガリ、帰路に。帰りは待ち時間があった姫路で、噂の駅そば(黄色い麺の和風だしの駅そばで、駅名物でよく紹介されます)を初めて食べて、終わりよければすべてよし、ということでおうちに帰りましたとさ。

(たなべみか)



木を感じて、見て！知って！触って！

第41回削ろう会全国大会大阪交野大会、開催

4月12日(土) 13日(日) 交野市向井田のいきいきランド交野にて「第41回削ろう会全国大会大阪交野大会」が開催、全国から「鉋(かんな)の削り日本一」を目指す職人たちが参集しました。

世界に誇れる、日本の職人の技術を
未来へつなげたい！

「削ろう会全国大会」は、鉋削りの技術や文化の交流を目的として毎年開催、プロ・アマ・性別・国籍・年齢問わず、全国の「削リスト」(競技参加者)が集い、鉋で檜(ひのき)の木を削り、薄さと削った「削り華(けずりはな)」の美しさを競います。(※「削ろう会」では、故・永六輔さんが名付け親で鉋クズを削り華と呼んでいます)

大阪での開催は、第5回松原大会以来26年ぶり。今大会の実行委員長に抜擢された菅村淳さんが代表を務める日伸建設(にしんけんせつ)が交野市を拠点としているため、交野での開催が決まったそうです。

今回エントリーした「削リスト」は、北海道から熊本県、海外からの参加者も含め、408名。会場に設置された測り台に各自用意した規定の大きさの檜の削り材をセット、全身の神経をこめて鉋で削り材を薄く長く削っていきます。何度も削りを繰り返し、「これだ」と思った「削り華」を会場3か所の計測所に提出、長さが規定以上で切れないことを確認後、定められた3点の薄さを千分の1ミリまで測れるゲージで測ってもらいます。3点の薄さの合計がその「削り華」の得点。2日間各々3か所の測定された「削り華」のうち得点数の一番少ない(薄い)ものが優勝です。競技会場の周囲には、鍛冶屋さんの刃物や、砥石、木工ドリルなど数多くの展示販売ブースが並び、たくさんの人だかり。手に取って、見て、購入する人たちも。

木の良さや、木のものづくりの楽しさを、
子どもたちや多くのひとに伝えたい！

今回大会実行委員会で意識したことは、「たくさん子ども達に、“見て、感じて”楽しんでもらうこと」。日本の職人の技術を身近に感じて知り、世界に誇れ



土壁塗り体験

る技術を次世代へと伝えられるようにという願いのもと、競技の行われるメインアリーナの隣の建物では、鉋削り体験や、マイ箸作り、鉋屑で作るフラワーアート、削りくずのプールなど、子どもたちも楽しめるたくさんのワークショップが設けられ、家族連れで大にぎわい。ぷーンと香ばしい木の香りと共に子どもたちの歓声が響きました。会場前では「交野いきいきマルシェおりひめの駅」が開かれ、キッチンカーがずらりと並び、ステージではゴスペルやフラダンスなどが演じられ、散り初めの桜のもと多くの人でにぎわいました。

大切な伝統文化を、次世代につないでいきたい！

12日は好天でしたが、翌13日はあいにくの雨模様。しかし、湿気の多い日の方が薄く削れていい記録が出るそうです。優勝戦とあって人出も多く、会場は熱気むんむん。「五寸(幅広の5寸鉋を使用)」の部は出井博幸(いでいひろゆき)さん(栃木県)、「一般(通常2寸鉋)」の部は飯干絢介(いいぼしけんすけ)さん(福岡県)、「女性・学生」の部は竹本みいこさん(石川県)が、優勝しました。

「大工職人と、彼らの使う刃物などの道具を作る鍛冶職人は、世界に誇れる日本の技術。未来の職人が一人でも増えることを心から願っています」と菅村さん。次の削ろう会全国大会は、2026年6月兵庫県三木市で開催予定です。

(文・写真/L I P編集局 豊高明枝)

🌸 2025年3月31日～4月6日 韓国・ソウル、光州 🌸
 ～韓国の歴史と民主主義に触れた旅～

気候も暖かくなり始めた3月31日、私たち3人のグループは、韓国・ソウルへ。航空チケットの予約がいちばん安い3か月前に計画したマイプランの旅で、はからずも現地でも歴史的瞬間に立ち会うことになりました。

～広場で大歓喜。みんな交流している！～

夜ソウルに到着すると、翌朝からあちこち歩いて集会に参加したり、おいしくて安い料理も堪能して、4月4日光州へ。ホテルに着いて開いたタブレットで見たのは、「尹錫悦(ユン・ソンニョル)大統領罷免」のニュースでした。昨年12月に「非常戒厳」を宣言した尹大統領の弾劾裁判を審理してきた憲法裁判所が、弾劾は妥当とする決定を言い渡したのです。軍と警察を国会に投入した大統領に対して、憲法を守る責務を放棄し国民の信任を裏切ったと、8人の裁判官全員の意見が一致しての判決だったとのこと。日本語の配信を見て、韓国発の映像も見ました。みんなが大喜びしているすがたが強く目に焼き付きました。

翌日街に出ると、駅前の大きな広場に大勢のボランティアが集まって、椅子を運んだり並べたり、集会の準備をしています。「〇時からやるよ」と教えられた時刻に広場に戻ると、入口ではコーヒーとおにぎりが無料で配られ、大きなカラー版の「号外」をもらいました。中には人、人、人。前方のステージでは、歌や踊りや、そしてアピールが次々に行われ、広場の周囲に設置された大きなスクリーンの液晶大画面に、ステージや集まったひとびとの映像が映し出されます。私の前の椅子には3人のきちんとした身なりの中年の女性が座っていて、喜びにあふれた様子。その横には若者たちがいて、やはり大喜びしています。世代を超えて、多くのひとたちが同じ喜びを分かち合い交流している！ 寒くて、広場には1時間くらいしかいらなかったのですが、熱い場に同席できたことは感動でした。

～自分たちの手で闘って得た民主主義～

1980年5月18日から27日にかけて発生した市民による軍事政権に対する民主化要求の蜂起である光州事件(5・18民主化運動)。この運動に関する資料は、ユネスコの「世界の記憶の一覧」に登録



されています。光州広域市内には「5・18民主化運動」にまつわる30あまりの施設があるのですが、そのなかの一つ、「全日ビルディング245」で、軍用ヘリコプターが武器も持たず行進する群集に銃撃を加える様子を再現したジオラマの展示を見ました。頭上に浮かぶ大きなヘリコプター、そこから発せられる銃弾を模した光線。臨場感たっぷりです。心底恐怖を感じました。

広場での市民の熱狂は、5・18があったからこそ。自分の父さん母さんの学生時代に起こったこと、光州に住んでいたために「アカ」と言われ排斥されたこと、そんななかで闘ってきた歴史が、今も残っている……。民主主義のために闘える、韓国人たちはすごい。「自分たちが闘って、勝ち取ってきた」という自覚があるのです。やったら勝ち取れると思っている、だからみんな一致団結できるのだ。これまで頭で理解していたそんなことを、現地に行って今回身体感覚でわかることができました。

韓国では徴兵制が敷かれ、成人男性は兵役の義務があります。地下鉄に乗っても、迷彩服(軍服)を着たひとをよく見かけました。徴兵制について、韓国の若者はどう感じているのだろうか？ タクシーに乗っていても運転手が政治的な話をごく普通に話しかけてくる。政治が身近なこの国について、これからもっと知りたいと思いました。

(談・写真 山下/まとめ・LIP編集部 豊高)

「人の命」と「健康」と「ふつうの人間らしい暮らし」を求める裁判 ～原発賠償関西訴訟第 53 回期日の報告～

4月23日(水)大阪地方裁判所で原発賠償関西訴訟第53回期日が開かれました。この裁判は、2011年3月の東京電力福島第一原子力発電所事故で関西に避難してきた人たちが国と東京電力(以下、東電)に対して起こしたものです。

この日の期日は大法廷で行われ、11時開廷15時半閉廷。午前中1人、午後1人の原告本人尋問が行われ、傍聴席は午前午後共殆ど満席でした。

最初に尋問に立った原告男性は事故発生当時福島県在住で、30代半ばの働き盛り。テレビニュースで原発の建屋爆発の様子を見て、メルトダウン、東日本全体がダメかと思い、避難を決意。同居していた両親は住み慣れた土地で暮らしたいとの希望で、一人で、声をかけてくれた友人を頼り、大阪にやってきました。被告・東電代理人からの反対尋問では、原告が避難前に住んでいた土地の広報を示して、この記事をご存知ですか？お祭りに人がたくさん集まったと書いてある、そこに住んで外に出ても安全な土地だということですよと、毎度同じパターンの質問が投げかけられます。お祭りがあって人出が多かったということだけで、そこに住んで安全安心の地だという証明になるのでしょうか。反対尋問が終わると、原告代理人から原告に対して、「東電の提出した書類には、原告が住んでいた地域の事故発生後の放射線線量について、『国の基準値内』と書かれているけれど、それは平常時の公衆被ばく線量年間1ミリシーベルトを優に10倍も超えています。今それを聞いて、どう思いますか？」という問いかけがなされ、数値の持つ信頼性の危うさについての疑問が提示されました。

午後本人尋問に臨んだ原告は男性で、目の不自由な方でした。尋問前に、これから話す内容が虚偽ではないと誓約する宣誓書の朗読は、代理人が宣誓書の文言を原告の耳元でささやき、それを復唱する形で原告がしっかりした声で宣誓しました(*)。事故発生当時福島市に住んでいた原告は、そのとき海外にいた外国人の妻の帰国を待ち、一緒に大阪に避難しました。目が不自由なために1人では大きな距離を移動できなかったからです。福島では単独で道を



歩けたけれど、大阪に来てからは「頭の中に地図がないので」一人で外出できない、隣近所からも何かと支援があった、福島の方が暮らしやすかったと語る原告。原告代理人から「福島がどんな状況になれば帰れると思うか」と問われ、「廃炉が終わらないのに安全と言えない」「同じことがいつ起こるかと思うと、不安。何かあったときに、私は逃げ遅れる可能性がある」と強い口調で返答を返しました。

お昼の休憩と閉廷後にはミニ報告集会が行われました。閉廷後のミニ報告集会では、原告の1人、帰還困難区域特定拠点解除の地域から関西に避難されているKさんが、以前住んでいた土地を最近訪れた際に感じたことを、胸に迫る、詩のような言葉で語ってくれました。——目につくのは黄色い水仙の花ばかり。長い冬を通り越して咲く花をみんな沢山植えていたのに……。水仙の球根は毒があるから猪たちに食べられることなく、命をつなぐことができているのです。家々が取り壊され、還れない敷地に取り残されて、通る人に健気に此処に暮らしがあったのだと知らせている花。悔しくて哀しくて、やりきれなかった、と。黄色い水仙の花言葉は「私のもとへ帰って」。後で調べて、息を呑みました。

次回第54回期日は、5月29日(木)午前10時から、大阪地方裁判所大法廷で行われます。

*大阪地裁のような大きな裁判所には点字の機械の用意があり、手続きのなかで点字翻訳が必要となる場合には、申し出に応じて点字化がなされるそうです。
(文・写真/豊高明枝)

LIPが選ぶ

今月の五行歌

ちらほらより

ちえこ

満開がいいなんて

好き勝手言うんじゃない

花びら一枚一枚に

いのちかけてるんやから

変わりゆく

ふわり

鏡の中の私

身軽になつて

そよ風に笑く

美容室を出る瞬間

ご近所のプランターに

桑本明枝

ネモフィラの青

海と空と自由だ

イメージネーションが

膨らんでゆく

五行歌(ごぎょうか)とは……五行で書く短い詩。字数や季語などの制限はなく、自分のおもったこと、感じたことを、そのまま言葉にして書きます。枚方では、五行歌ひらかた歌会が、8月を除き月一度歌会を行っています。
(連絡先: akkie.toyotaka@gmail.com
または 090-5893-5635・豊高)

No.45

なんちゃって農業女子(笑)

今回も前回の「醤油作り」の報告からスタートします。写真①は『一か月経った醤油の写真』です。前回にもご報告しましたが、高槻の『テマヒマ』という古民家セレクトショップ&カフェで、醤油のお勉強をさせていただき、醤油作りにチャレンジしました。(現在毎日攪拌中!!)

写真だけでは前回との違いが分かりにくいかもしれませんが、醤油と大豆は「少しだけ分解が進んでいる」のです。基本的に気温が高くて過発酵を避けるために、現在冷蔵庫にて管理しているので、日々それ程「発酵」している様子は見られません。本当は「常温」で発酵を促した方がよいのでしょうか…

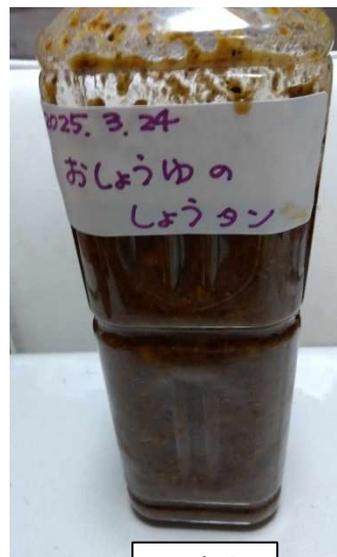
とりあえず、また来月も経過報告させていただきますので、お楽しみに(笑)

さて、今回「果樹」の勉強にも参加してきましたので、その報告を投稿します。滋賀県近江高島(昨年味噌作りや醤油作りに行った「そう楽園」という場所)で、三重県の愛農学園農業高等学校の果樹担当の先生による「果樹栽培」の座学および実技の講座です。一回目は4月6日に「果樹栽培のサイクル」というタイトルで、果樹の一年間の成長及び変化について学びました。野菜を違って、木なので、無農薬では無理ではないか??と聞いていましたが、先生は、その高校で、22種類の果樹を無農薬で15年育てておられるそうです。一日では学びきれることではないので、年5回(残りあと4回)学びます。またご報告いたしますが、今回の学習で一番記憶に

残ったことは、「まず、その木がどうなりたいたいのか?を日々しっかり観察してほしい」という言葉でした。私が今回果樹の勉強をしようと思ったのは、職場で「レモン」を育てなければならなくなったからです(写真②)。

先生の言葉を思い出して、観察ノートを作ることにし、先日から日々のレモンの変化を記録しています。次回以降、その様子とかもご報告できるかも…乞うご期待!!

文・写真／へそくん



写真①



写真②

気軽にポチッとしてみたら

ようこ

(「碧」2025より)

12月に入ってすぐのある朝、午前中の予定が何もない日だったので、ゆったりした気分、スマホをいじりながらコーヒーを飲んでいました。

すると、画面にいきなりダ、ダ、ダ、ダと、5件ほどのメールが入ってきました。最初はマレーシア、次がフィリピン、そしてタイ、アラブ首長国連邦と続いた。

その時まで、眠りから覚めていなかった脳に、ビリビリとスイッチが入った。思い当たることがあり、心の中で(やっばり……)と、呟いた。

前日に、ニュースで中山美穂の悲報が流れ死因がヒートショックではないかと伝えられているのを耳にした。このところ急に寒くなってきたので我が家でも気をつけなければならぬ。そのために場所をとらない小型ファンヒーターをトイレや、洗面所などに置いた方がいいなと思った。

早速、スマホを手に取り「小型ファンヒーター 日本のお社 コスパ良」と、入れ検索してみた。

すると、即、三菱電機の製品の画像が現れた。説明によると数秒で30畳の部屋を暖め、しかも1日中使っても電気代が、たった50円と続いた。その上、値段が一台6千円弱で、2台目からは、何と1800円と言うではないか。3台でも1万円にならない。

これなら、あちこちに置けると、喜んで飛びついた私は、スラスラと住所氏名年齢とクレジットカードの情報を提供した。

すると、即、画面が変わり正規のネットショップ

ングでは必ずある注文内容の確認をして、注文確定ボタンをクリックするということもなく終了してしまつた。連絡先もわからない。

さすがの私も嫌な後味が残つたので、スマホと格闘し苦勞の末、やっと先ほどのサイト名にたどり着いた。国名は香港になっている。「これは、怪しいかも」と思い、まずはカード会社に連絡し、使用を止めた。

これでひと安心と思っていたら、すぐ次の日には海外から怪しいメールが連続して届いた。どの国名も、毎日のように耳にする詐欺メールを操る集団が住むと言われる場所だ。

恐ろしくなり、電話会社に連絡し、事情を伝えた上で、スマホの番号を替えたいと伝えると、それは無駄だと言われた。これまでの事例では番号を替えても相手はプロなので、様々な手を使ってアクセスしてくるのだそう。とにかく、海外からのあらゆる電話、メールをブロックした方がよいと言われた。

不便なのは今後、知人の誰かが、海外から私に連絡をしてもブロックされることだ。少々の不便は仕方がないと従うことにした。

結果、海外からのメールは来なくなり、オーストラリアからのメールが最後だった。

夫には、ネットショップピングをしたことは秘密にしていたが、怪しいメールがあったことは伝えた。

「警察に連絡しといたほうがいい」と言われ、後ほど地域の交番所から警官が来ることになった。夫は「警官の名前は？」と、聞いていた。そういえば、なりすまし警官もいるので、これは必要かもと思つた。

夕方暗くなつてから、インターホンが鳴り若い警官が立っていた。心の中は疑心があふれていて思わず「どちらの交番所から来られたのですか？」と警

官に対して質問してしまつた。

彼は、詳しく話を聞き、スマホの写メを撮り、結局は、「メールの前に、+マークがあるのは、間違いなく詐欺メールですから、絶対無視するように。知らない番号も出ないようにしてください」と、言つて帰っていった。

多分、彼もこのようなことには大して知識が無いのだと感じた。一応、連絡があつたので対応したが、私と同レベルのことしかアドバイスをしなかった。

そつと、息子に打ち明けると「あほか、一日使つても電気代が数十円なんてファンヒーター無いわ。安いものに直ぐ飛びつく癖も危ないわ。もうネットショップピングはやめろ」と、さんざん怒られた。今は家族に相談してからポチッとすると誓つた。

あれから10日が経つ。品物は届いていない。カードの使用履歴には、9600円の文字が残っている。これは勉強代金とあきらめることにした。それでも、心の隅つこで「もしかしたら、香港から届くかも」と願っている懲りない私も居る。

今号から、エッセイサークル文文(ぶんぶん)の作品を掲載させていただきます。1回目は、筆名「ようこ」さんの作品です。

エッセイサークル文文はいつでも会員を募集しています。お気軽にどうぞ。

◆例会 毎月第3金曜日 午後1時〜5時 (8月を除く)

◆場所 生涯学習交流センター 他
年刊の作品集「碧」は枚方市立図書館で借りることができます。

イベント・サークル・ボランティア情報

安心・安全な暮らしを 子どもからお年寄りまで(市民の会車座)

- 日時 5月10日(土) 14-16時
- 会場 枚方市総合文化芸術センター別館(旧メセナ) 第5会議室
- 主催 平和で豊かなひらかたを市民みんなで作る会
高松 090-7096-4719 松田 090-9705-5921 ■参加費 300円
4月から電気もガスも値上げ。交通運賃もつぎつぎ上がる。コメも高いまま。
この切実な現実を声にしていきましょう。

夢洲キケン! カジノ・万博いらん ひらかたの集い

- 日時 5月24日(土)13時30分~16時
- 会場 枚方市総合文化芸術センター別館(旧メセナ) 多目的室(2階)
- 主催 平和で豊かなひらかたを市民みんなで作る会
井筒090-7493-3878 高松 090-7096-4719
- 参加費 500円(学生・障がい者無料)
- 講演 あなたも狙われている オンラインギャンブル 被害の拡大と深刻な実態
講師 新川真一さん
(大阪府ギャンブル等依存症対策推進会議委員、大阪いちよの会事務局次長)
- 報告 万博・カジノの問題点 危険な夢洲・運動の報告
報告者 山川義保さん (夢洲カジノを止める大阪府民の会事務局長)

みんなといっしょに高校へ行きたい

知的障害者を普通高校へ北河内連絡会定例会のご案内

毎年3月の「障害」のある子どもの高校進学を考える学習会は合格や卒業のお祝いから始まります。今回は北河内連絡会に集う4名の「障害」のある生徒たちが見事に府立高校に合格しました。受験結果を見たお母さんは「本当に0点でも合格できるんや!」。「入学後、高校から学習支援員、生活介助員を付けますと言われた」と便りをくださった方もいます。中学校では困難、できないといわれたけれど、みんな合格できるんだという現実を、これから受ける人たちに知ってほしいと目を輝かせながら話されました。高校大学を卒業して勤め始めた先輩がZoomや受付を手伝ってくれました。

新年度最初の定例会です。期待と不安の入り混じったスタートを過ごされたのではないのでしょうか。気兼ねなく声に出していただき、話し合い、府内の情報も交えて交流します。ぜひおいでください。

Zoom参加(無料)を希望される方は松森まで
(matumori@crux.ocn.ne.jp)
連絡先・松森俊尚 090-1960-3469 関山域子 090-2599-6162

と き: 2025年5月17日(土曜)午後1時45分~5時
と ころ: 寝屋川市民会館 3階第7会議室 駐車場有
〒572-0848 寝屋川市秦町41-1 TEL072-823-1221
京阪寝屋川市駅下車 徒歩東へ15分 東口からバスも有

- 内容: ① 今年の高校受験をめぐって
② 子ども達と学校や生活上の課題、不登校対応
③ 医療的ケア」の必要な子ども達を巡って
④ 高校卒業後の進路と生活、課題
⑤ 国連障害者権利委員会勧告、文科省通知
⑥ その他、自由に交流します。

参加費: 会場費 家族につき100円

【枚方自閉症児(者)親の会】

自閉症だけでなく生きづらさを感じながら生きている人、その保護者や関係者の方々。どうぞフリートークで参加ください。話すことにより、何か新しいことに気づけるかもしれません。

- ◆日時: 5月26日(月) 10:00~12:00
- ◆場所: ラポールひらかた 4階共用ルーム
- ※連絡先 春名 072-397-0053 団 072-868-7359

応援ありがとうございます♪

LIP応援団

安部晴代さん

LIP会計報告(前号以降)

金額(円)	内容
32,369	前号から繰り越し
6	銀行利息
12,000	広告代
1,000	応援団寄付
▼3,000	市民活動支援センター年会費
▼500	ロッカー代
▼1,240	4月号印刷代
▼1,010	郵送代
39,625	計(次号へ繰り越し)

STOP WAR NOW LOVE & PEACE

◆枚方モールの「でんしゃみち」から見える電車の時刻一覧が見れる、勢いで作ってしまったJavascriptベースのWebサイト。なんと、「ひらつー」の記事で紹介されました\(^o^)/QRコード、または「ひらつー でんしゃみち」で検索すると読めます。(w)



◆LIPは市民が書き、市民が読む地域密着型情報紙です。あなたも紙面に登場してみませんか?

【参加者募集】放課後クラブ「チャレンジ・キッズ」 情報交換・交流会

子どものこと、学校のこと、高校進学、勉強や、家庭での時間の過ごし方について、気になることはないですか? 保護者どうし、時には支援者を交えて、おしゃべり情報交換しましょう。

- ◆日時: 5月22日(木) 11時~14時(出入り自由)
- ◆場所: ラポールひらかた 2階 集会室
- ◆参加費: 500円(年会費)

イラスト 表紙: 平井由恵



枚方コーレん

デビューしちゃう?

【ひらつーパートナー・ライト】

月額 5,610円

詳しくはコチラ➡➡

